

NEWS RELEASE

12/18 産官学連携授業 名張市長への報告会

県内学生が作った名張市地域の課題発見すごろく

- 三重県内の高等教育機関が連携して行う単位互換が可能な授業の一つ「医療・健康・福祉実践」について、学びのフィールドとして協力いただいた名張市長へ授業の報告をします。
- 授業は4日間。名張市内の様々な地域を回り、医療や福祉だけでなく地域活性化や健康づくりなどについても学びました。参加学生は9名。
- 授業はグループに分かれてフィールドワークを行い、最終提出物としてグループごとに「すごろくの盤面」を作成しました。

【概要】

単位互換で三重県内の高等教育機関の学生が自由に履修できる授業の一つ「医療・健康・福祉実践」。今回この授業では4日間名張市内の様々な施設や地域を巡り、医療、健康、福祉について学ばせていただきました。参加学生は三重大学から5名、三重短期大学から4名の計9名でした。授業は3つのグループに分かれ、地域を巡りながら医療・健康・福祉のみならず歴史や高齢化などを含む様々な側面から、地域の課題を認識しました。そして地域をよりよくしていくために、いま私たちがどう行動すべきかを考えました。

最後にそれぞれのグループで考えをまとめたものを「すごろくの盤面」に落とし込みました。あえて、プレゼンや報告資料、レポートなどではなく、「すごろく」にしてゲーム性を持たせることで「学生たちが地域で感じて考えたこと」を老若男女問わず楽しみながら伝えることができます。「すごろく」の盤面はスタート地点に解決したい地域の課題が書かれており、マスを進めるごとに地域がよりくなる仕組みやアイデアがちりばめられ、ゴールには明るい未来が書かれています。

ぜひ名張市長にもこの「すごろく」を通して学生が地域で感じて考えたことを追体験してもらえばと思います。



日程:12月18日(木) 13:50~14:30

場所:名張市役所内

<本件に関するお問合せ>

三重大学 学生支援・キャリアセンター 織田 拓

TEL: 090-8388-3164 E-mail: orita.sansui@mie-u.ac.jp